

東京武道館合気道研修会

年間を通して、厳しい中にも、楽しく稽古し、無理する事無く、又、怪我せず、させずの心を持って望みたいと思います。

合気道北千住道場

怪我の無い様に和気藹々と楽しく稽古をする。

千住合気会

今年も誰でもが通い易い道場。誰でもが一生懸命稽古が出来る道場を目指し、また一人でも多くの稽古仲間が増える様な雰囲気作りを会員一丸となつて励みたいと思います。

合気道石田塾

加盟各連盟の行事に積極的に参加し、少しずつでも技術向上をめざします。

江戸川区合気道連盟

子供からシニアまでそれぞれの体力技量に合わせて基本を大切に、心と身体を鍛えていきます。怪我をしないさせない稽古、特に、初心者には基本をしっかり指導し、稽古に励みます。合気道は武道である事から、しっかりと『礼』を身につけて大切にしていきたいと思えます。

合気道中宮西道場

平成二十七年七月十九日(日)中宮西道場にて十周年祝賀会を開催させて頂きました。道場は一時期三、四人し

かなくなつたので毎日、道場長として反省の日々でした。一度は道場を閉めようとも思いましたが、最悪の状態に私の補佐役である部長に助けられなんとか十周年を迎えてからは不思議と門下生の数も増えて皆さん元気でハツラツと爽やかに稽古が出来る今日この頃となりました。これからは人様のために役立つ自分でありたいと心に誓い切磋琢磨の稽古をしながら少しでも地域社会に広がっていければ良いと思えます。

合気道木下道場

あけましておめでとうございます。今年度は四年に一度の国際合気道大会なので、会員が参加できるように配慮し、そして海外から来日した仲間にはおもてなしをしたいと思います。

合気道土井道場

三十八年間慣れ親しみお世話になつた葛飾区水元体育館が老朽化のため二月末に閉館予定。三月からは隣に新設された水元総合スポーツセンター武道場と土井道場で稽古をすることになります。三月上旬に新体育館落成記念演武会を予定しております。これからも基本を大切にしながら、稽古に励みたいと思えます。

新小岩合気会

今年も基本の技を中心に稽古を積み重ね、心と体の調和を図り、稽古仲間を増やしたいと考えています。

城東誠和会

思い起こせば、三千の手習いと始めた合気道が四十余年になりました。植芝吉祥丸

道主、大澤吾三郎本部道場長に色々御指導を受けた思い出が自分の中では強く残っておりす。「竹さんのは合気道で無く、ゴウキドウだ。」とよく聞かされました。基本の大切さを踏襲し、崩し、崩し、技に入る円転の動きを大事に、「舞いは武なり」となれる様、稽古をしていきたいと思っております。

北区合気道会

北区合気道会は、会員全体が基本を大切に技の向上を図るのほもとより、若手指導者の育成に力を注ぎ、合気道の健全な普及・発展と地域社会への貢献の充実に努めていきます。合気道は生涯を通して出来る武道でありますので、これからも地域住民との交流を大切に、合気道初心者講習会・合気道体験教室等を充実させて会員の増員と合気道の発展に取り組んで行きたいと考えています。

合気道進藤道場

今年も基本重視の稽古に励んでまいりたいと思えます。

都庁合気道部

合気道の素晴らしさをより多くの人に知ってもらうため、各種活動を展開するとともに、『たゆまぬ稽古』を実践していきたいと思えます。

合気道臥龍会

「万有愛護」という精神理念のもとに、「無抵抗主義」を心掛け、体をつくり、気を養い、心を正しく磨くために基本に忠実に稽古する。

江東区合気会

今年も合気道の心を探求していきたいと思えます。

西新宿合気会

合気道の稽古を通じて人との繋がりの瞬間を大切に、これからも全員で協力し会を運営、発展させたいと思えます。

合気道両国魂友会

各人が「自分の目標」を持ち、「基本」を大切に、楽しく稽古が出来ること

合気道本所道場

十周年を迎えます。座り技を主に基本を大切に稽古を心掛けてまいります。

祖師谷合気会

私達道場は益々、地域と密着する様に心掛けていこうと思っております。

合気道れいめい会

昨年は会員が百名を超え合気道れいめい会初めての演武大会を開催しました。今年もれいめい会のモットー「基本を大事に楽しく少し厳しい合気道」を活かした日々の稽古に精進いたします。また子供クラス親子合気道教室を通じて地域に根差した合気道を普及したいと思えます。

みずほ証券合気道部

当部は今年、創部四十周年を迎えます。七月には植芝守央現道主、小林幸光師範をお迎えし、ささやかな祝賀会を開きます。一口に四十年と言いますが、いかに多くの

先華方が活動を継続するために苦労してきたのかを考えると、未来へつなげる自分たちの責任を痛感します。今年の目標は新人獲得五名。けが人ゼロ。幅広いメンバーによる楽しい活動を継続していきます。宜しくお願い致します。

富士見合気道友会

会員は法政大学合気道部のOB、OGの発展、進行形の集まりです。毎週土曜日は、千代田校舎にありますが道場で、現役たちと稽古を重ねています。開祖を知る方々も七十名はいます。その逸話を聞くのも稽古の後の楽しみの一つです。来年合気道部六十周年を迎えるに当たり結束を図るべく、三月ごろ連合稽古を計画しています。課題は広く皆様との交流を深めたいと願っていることです。

合気道銀座養正会

皆さまのご指導、ご支援を賜り、銀座産経学園から合気道銀座養正会へ移行し、二年目を迎えることができました。今後も奥村繁信師範の教えを受け継ぎ、基本技を中心に鍛錬を重ね、また楽しく稽古に励みながら日々精進し、当道場をより一層盛り上げていく所存でございます。

中野区合気道会

今年、一般部秩父合宿、少年部日帰り合宿について、四教室が力を合わせてなお一層充実したものにしていこう。日頃の稽古は楽しい中にも緊張感のある稽古風景を描き、技の向上を図るとともに、道場における立ち振る舞いをしっかりと定着させていきたい。また、東京都合気道連盟行事には

会員の積極的な参加をすすめ、技の修得とともに他道場との交流を図っていく。

法務省合気道部

活動を維持するため部員の獲得を目指すとともに、「相手にけがをさせない」ことにかけて、「基本技」を中心に稽古し、合気道を通じた心身の錬成を行っていきます。

合気道山口道場

本年四月九日(土)先代、山口清吾師範の没後二十年祭と合気道山口道場の十周年を記念して、「合気道 山口清吾先生を偲ぶ会二十年祭(合気道 山口道場 十周年記念)」を開催。新橋ヤクルトホールにて映像上映(午前)と演武会(午後)を行います。当日は、著名師範ならびに協賛団体師範による賛助演武を予定。

八王子合気会

昨年に新規入会した少年部稽古人の順調な成長を見守りたいと存じます。

合気道清進塾

当道場は昨年創立40周年を迎えました。今後も出会いを大切にして「和合の精神」を生かし塾生と一緒に励みたいと思えます。

本富士合気会

怪我無く通年稽古を着実にこなすようになって行く。練習の為の稽古をおこなわない様に心掛け「実りある稽古」をする事。東京都合気道会主催の指導者講習、合同稽古等に積極参加する事。

合気道興隆会

明けましておめでとうございます。本年も昔風の稽古場とは違う方々との稽古を通して、いろいろな道場の技を知り、互いに学べる場が提供できたかと思っております。皆様の参加をお待ちしております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

合気道小林道場

一人でも多くの人に合気道を！

調布合気道会

今年が創立四十周年の年です。十一月に記念演武大会を実施します。会員との親睦を深め充実した稽古に励みたいと思えます。

多摩川合気道会

多摩川合気道会では、親子で参加できるクラスもあり、家族で合気道の稽古ができます。行事としては、春に市民向けの無料体験講習会、秋には合宿稽古やミニ演武会を予定しています。またパーベキューやクリスマス会などの家族で参加できる親睦会も企画しています。今年も礼節を重んじ、稽古を通して心身の鍛錬を心掛けていきたいと思えます。

合気道上石神井道場

合気道を通して、充実した日常生活を送れるように、一生懸命稽古に取り組みたいと思えます。

合気道紫水会松風塾

日常の稽古の中で「気づき」を大切に、平常心ではなく非常心の設定をもって稽古

に臨む。

合気道武蔵塾

会員の増強、日々の稽古の充実

東大和市合気道会

本年は、根本的に指導のあり方を見直し徹底的に二つ二つを検証し、特に新入会員には、新人担当指導員を決めて判りやすく、楽しく、怪我をさせない指導をさせました。その結果、正しい捌き方を身につけ、安全な受身が出来るようになり、技もだいぶ上達してきています。来年も引き続き基本の大切さを根気よく指導して行こうと思えます。年間の事業も活気があり、会員父兄等からの紹介もあって、百四十名を超える団体になってきました。三年後に五十周年を迎えますが、「怪我をしない稽古」、「怪我をさせない稽古」を合言葉に、一人でも多くの人に、一人でも多くの市民に合気道の良さを訴え、普及させて行きたいと思えます。

望星学塾合気道教室

なに事にも真剣に

仲池合気道同好会

地域の人の和を大事に、明るく、楽しく合気道を通じて一歩一歩前進して行きたいと思えます。

大田区合気道会

春と秋には演武大会、体育の日には親子教室を開催しPR。青少年の健全育成に貢献できるよう努力してまいります。

移川 玄德 (合気道北千住道場)
もっと上手くなれるように頑張りたいと思います。

宮川 優人 (千住合気会)

来年は上の皆に教えてもらいながらさらに上の級へと進んで行きたいです。そして、今度入った人がいたら教えてあげたいです。ぼくは、出来るだけ合気道を続けたいです。

神田 侑 (合気道向日築道場)

これから黒帯に向けて、技をきれいに完璧に出来るようになります。そして、黒帯まで一切けが無いようにがんばります。

上川 由夏子 (合気道向日築道場)

家でも技などの自主練習を頑張ります。黒帯を目指します。

田巻 美侑 (合気道向日築道場)

自分はまだまだあたり前のことができていないので、一つ一つのために練習して頑張りたいです。

年男、年女、今年の抱負

武藤 雄飛 (合気道土井道場)

中学生になったらいろいろと忙しくなりますが、勉強・部活と同じように合気道もがんばりたいです。

濱畑 宗泰 (合気道土井道場)

学校の下校時間も遅くなって稽古に

来られる日が少なくなりましたが、合気道もがんばりたいです。

石出 大治 (合気道土井道場)

先生に注意されたところを努力して、少しでも上達できるようにがんばりたいと思います。

武藤 花 (合気道土井道場)

級があがるよう稽古をがんばります。

田中 明絵 (合気道両国魂友会)

基本を大切に、たくさん技を覚えられるように頑張ります。

黒川 太聖 (合気道両国魂友会)

今は参級なので、もっと練習して試級になりたいです。

山岸 由二圭 (祖師谷合気会)

飛び受け身をもっと上手になりたい。

片岡 見悠 (祖師谷合気会)

もっと合気道ががんばって体を強くしたいです。

石川 想大 (祖師谷合気会)

飛び受け身をもっと上手に出来るようになりたいです。

二十四歳

曾我 大地 (合気道臥龍会)

本年は、今まで以上に技を磨き、心身共にまた一歩成長できるように精進して参ります。そのためにも敢為邁往(かんいまいおう)の精神で、基礎の徹底を改めて図って

いきたい所存です。

細井 俊吾 (調布合気道会)

子供クラスから入会して二回目の年男を迎える事となりました。稽古を重ねながら健康な体と精神力も身につけるものは大変多いです。その中でも一番は合気道を通して若者男女、年代を超えて人との繋がりが出来ることです。日々、共に鍛錬を重ねていけること、その出会いに感謝しながら今年一年も変わらず精進していききたいと思います。

三十六歳

岩田 直樹 (江東区合気会)

今年は昨年より少し合気道を進歩させた。

四十八歳

任田浩一郎 (西新宿合気会)

自分も楽しめるように気持ちに余裕を持って、会を盛り上げていきたい。

花山 嘉子 (祖師谷合気会)

美しい前回の受け身が出来よう稽古に励みます。

秋山 由里 (祖師谷合気会)

飛び受け身で着地が出来るように頑張ります。

木村武志 (合気道紫水会松風塾)

合気道と出会って十年という節目を迎え、色々迷ったりしては先生や仲間のおかげでいたただきながらここまで来られました。今年はいっかりとした道筋が見える一年に

したいと考えています。

椋 康雄 (大田区合気道会)

四回目の年男を四段位で迎えることができました。それよりも、初めて年男の次男が既に六級をいただいていることを嬉しく思います。中学にあがった長男共々、怪我をせず稽古を続けたいと思います。

塚田 晃 (大田区合気道会)

今年、四回目の年男の年に当たりますが今まで「年男」を意識した事はありませんでした。自分も年を取ったのかなと思いましたが、今年こそ風にそよぐ柳のような「受け職人」になれるよう、日々精進してまいります。

守屋 洋一 (大田区合気道会)

長男が三歳の時に一緒に始めた合気道も今年で十三年目に入ります。人生の四分の一の時間を合気道と歩んで来ました。現在、赴任地マレーシアで勤務していますが、一時帰国の時は大田区合気道会で稽古しています。子供の成長はこの上達はないのですが、先生をはじめ稽古仲間のお陰で楽しく稽古させていただいています。

六十歳

川畑 良次（城東誠和会）

合気道を始めて十四年、城東誠和会の幹で魅力的な先生に巡り会えて、良き先輩、楽しい仲間と共に稽古を行い、七年が経ちました。今年で五回目の年男となったのを機に初心にかえり、稽古は基本を大切にしながら、剛と柔を使い分けられる様に、日々鍛錬していきます。竹森先生、諸先輩、稽古仲間の皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。

村井 眞木（祖師谷合気会）

還暦を迎え、初段を目指して稽古に精進したいと思います。

石原 邦彦（合気道清進塾）

私が合気道が好きなのは幾つかありますが。例えるならば日本刀は男、女の強さが有ると申します。合気道にも同じものを感じます。外を柔らかくし内の強さを包む。また日本料理で例えるのなら隠し味をどのように入れているのか、隠し味を伝授されても微妙な分量はいつも変わる、猫舌の人、味覚障害の人、万人にうまいと言わず味を追求するには・・・。合気道は私にとって色々考えさせられる楽しく広い道です。

鎌田業継（合気道武蔵塾）

還暦を迎えます。伊手に帆を揚げて合気道三昧。

七十二歳

杉本 泰宏（北区合気道会）

「心の支えとなる人」を求めて入門以来の教えにより、合気道を創（はじ）め、先達諸武道家の人生を知り「平常心を養生する」を生涯の行動課題として研鑽して行きます。

伊藤 正啓（合気道尚国魂友会）

学生の頃からお付き合ひ頂いている合気道。歳ばかり取って技のほうは恥ずかしい限りですが、幸い体はまだ異常なしなので、未永くお付き合ひ頂きたいと思っています。

編集後記

謹んで新春をお祝い申し上げます

昨年は連盟創立三十周年記念イベントとして六月の錬成大会、十月の演武大会に向けて理事・監事一同今までにない程の準備と打ち合わせを繰り返し、何とか無事に終了することができました。これも多くの加盟団体のご参加をいただいたことにより、盛大に開催することができました。関係者には心より御礼申し上げます。

編集後記（小林記）